

サイエンス部が第7回ハイスクール放射線サマークラスで研究発表をしました

このサマークラスは、「第35回みんなのくらしと放射線展」(事務局：大阪府立大学研究推進機構内)の一環として、高校生が放射線に関する研究のプレゼンテーションを学校対抗で行うものです。本校のサイエンス部は第1回より毎年参加してきましたが、今年は「放射線の可視化について」というテーマで、自作の拡散型霧箱を使って、 α 線の飛跡を観測して磁場内に置くと飛跡がどう変化するかを調べた結果を報告しました。今年の発表校は、大阪・京都・福井からの計8校でしたが、本校からは2年生2名と1年生2名の4人で発表を行い、活発な意見交換を行いました。

